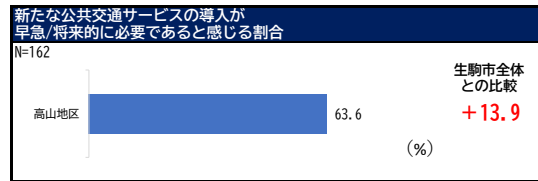
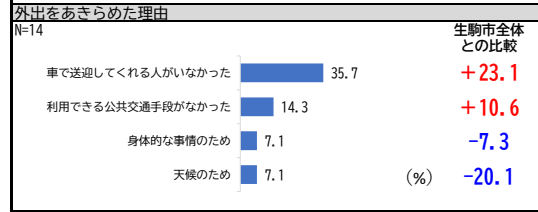
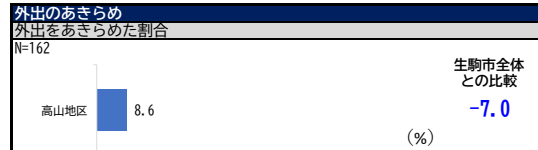
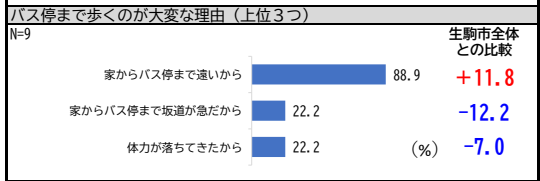
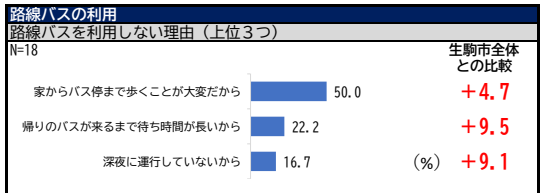
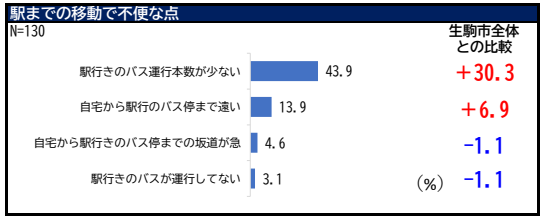
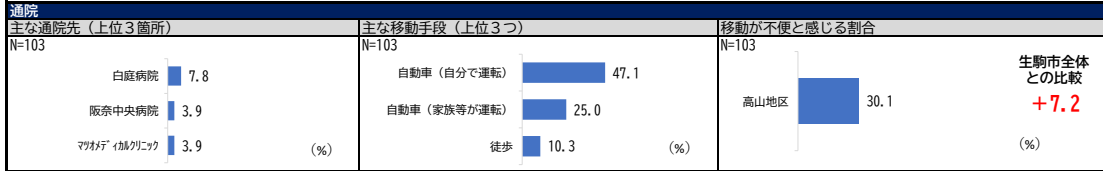
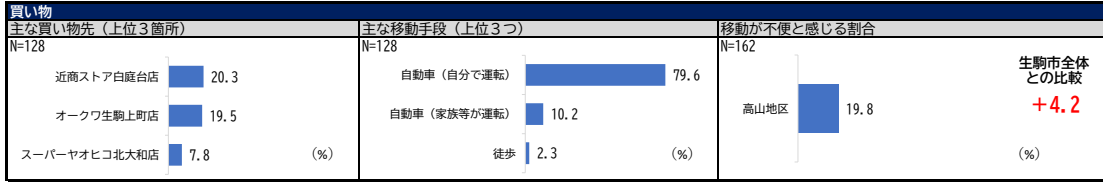


整備優先順位の高い6地区のカルテ

令和3年度
第2回協議会
【参考資料】

高山地区

令和2年度住民アンケートにおける主な結果



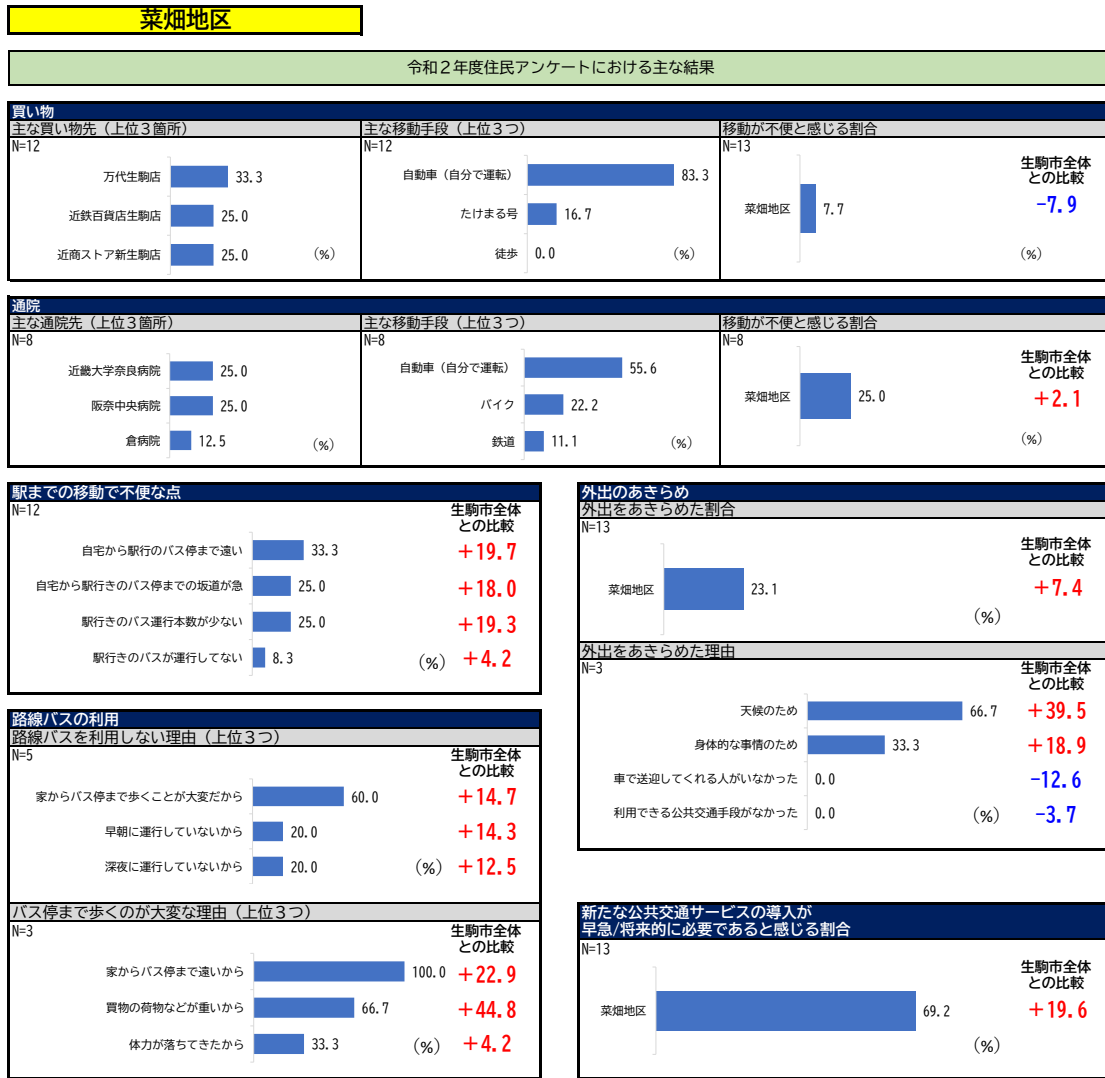
出典：令和2年度住民アンケート調査結果 (生駒市)

公共交通に関する主な意見 (R元年度アンケート調査・R2年度自治会長ヒアリング結果)

高山 傍示	路線バスは便数が少なく、最終便も早いので、通勤・通学で利用しづらく、家族の送迎や自転車利用となる。道が細いのでバスは入りづらく、買い物は宅配利用が現実的である。
〃 獅子が丘	路線バスはバス停まで遠い(町内⇒傍示南バス停)、最終便が早い(学研北生駒駅からの最終便18:49)、高額であることから、家族や近隣の方、老人ホームのバスでの移動となる。マイカーが乗れないと都市部に移住する人もいる。理想はコミュニティバスの導入だが、他にも良案があればと思う。平日もバスを運行してほしい。
〃 庄田	路線バスは便数が少なく(特に日中)、最終便が早い。また高額なため利用していない。バス停まで遠い。目的地(e.g.生駒市民病院)までの乗換が多い。マイカー利用や高校生などは自転車ですべて行っている。近隣の方の送迎やタクシー利用も考えられるが、コミュニティバスがあればありがたい。行政サービスに差があることに疑問がある。民間企業とのタイアップなども考えて欲しい。
〃 大北	路線バスは便数が少なく、バス停までの歩道も良くない。家族による送迎や自転車ですべて行っている。収益性を考えると難しいが、コミュニティバスのようなもので、使いたい時に使えるシステムがあればと思う。運賃が高い。
〃 宮方	路線バスは運賃が高く、便数も少ない。最終便も早いので、駅までは車での送迎や自転車、徒歩で移動している。バス停まで遠い。高齢になると自宅前までのサービスが必要なので、コミュニティバスで地区内を回ることで、タクシーなどの小回りの利く手段が必要である。本当に移動が困難に人に限ったタクシー利用券や電動カートなどの補助が良いと思う。
〃 久保	路線バスは便数が少なく、最終便も早いので、家族の送迎や自転車利用となる。買物は宅配サービスを利用している人もいる。近商ストアが移動スーパーを計画しており、当地区でもお願いをした。乗合タクシーだと利用があるのではないかと。北地区にはコミュニティバスがないので不公平感はある。
〃 芝	路線バスは便数が増えれば良いが、駅まで比較的近いので徒歩や自転車で移動できる。買物や病院はバスや家族の送迎、タクシー、徒歩など様々。コミュニティバスやタクシー券。
今後の公共交通サービスの提供に係る対応方針	
R2年度住民アンケート結果より得られた知見	○駅行きのバス運行本数が少ないことで、駅までの移動が不便である。 ○家からバス停まで遠いため、路線バスを利用しないことが多い。 ○車で送迎してくれる人がいないことで、外出をあきらめることが多い。 ○新たな公共交通サービスを必要とする声が多い。
現状	○地区が広く道幅も狭いため、定時定路線のバス系は収支や網羅性の面で厳しい。 ○買物は宅配や近商ストアの移動スーパー(久保・芝・宮方)で賄って頂くことが出来る程度可能である。 ○鉄道駅まで距離があり、通院のほか、家族送迎に依存する通学や習い事の需要がある。
公共交通サービスの案	⇒A案：必要な手段を確保する観点で、デマンド型乗合タクシーを検討する。 ⇒B案：加えて、地域との話し合いのもと、助け合い輸送の可能性及び仕組みづくり(市の支援策含む)を検討する。

整備優先順位の高い6地区のカルテ

令和3年度
第2回協議会
【参考資料】



公共交通に関する主な意見 (R元年度アンケート調査・R2年度自治会長ヒアリング結果)	
菜畑	門前線の最寄りバス停までは距離があり道も良くない。徒歩やタクシー・自家用車（送迎含む）での移動となる。是非ともコミュニティバスが必要。

今後の公共交通サービスの提供に係る対応方針	
R2年度住民アンケート結果より得られた知見	○家からバス停まで遠く、坂道が急であり、バス運行本数が少ないことで、駅までの移動が不便である。 ○外出をあきらめたことのある住民が多い。 ○新たな公共交通サービスを必要とする声が多い。
現状	○地区は広いが、人口はあまり多くないため、地形的な面も含めて定時定路線のバス系は収支や網羅性の面で厳しい。(但し、コミュニティバスの要望はある。) ○鉄道駅まで距離があり、通院のほか、家族送迎に依存する通学や習い事の需要がある。
公共交通サービスの案	⇒A案：単独でのコミュニティバスの導入はハードルが高いことから、他地区のコミュニティバスの再編を含めて特定曜日(例、火曜・木曜)の導入検討を行う。 ⇒B案：必要な手段を確保する観点で、デマンド型乗合タクシーを検討する。 ⇒C案：地域との話し合いのもと、助け合い輸送の可能性及び仕組みづくりを検討する。

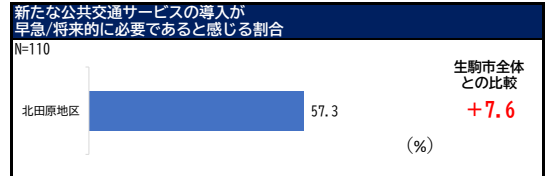
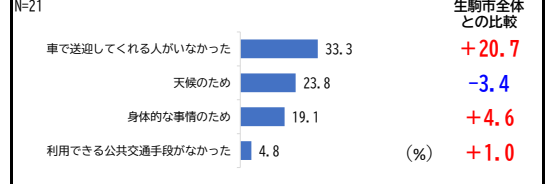
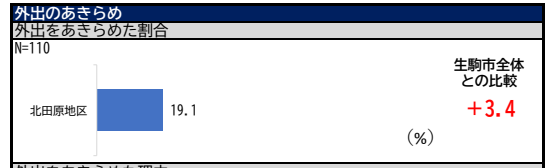
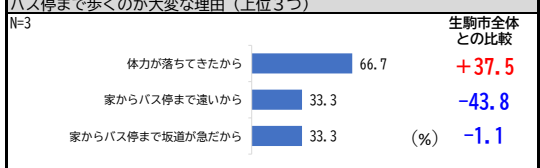
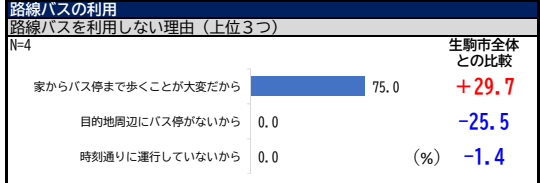
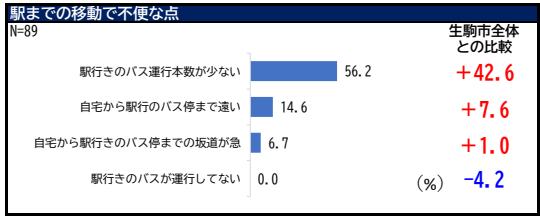
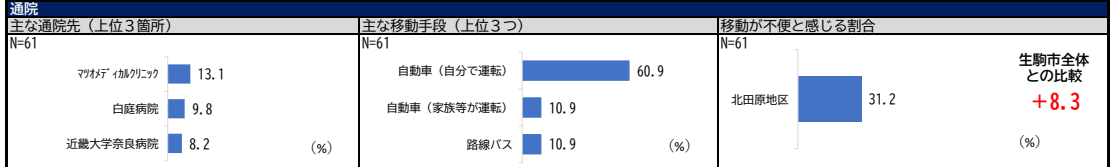
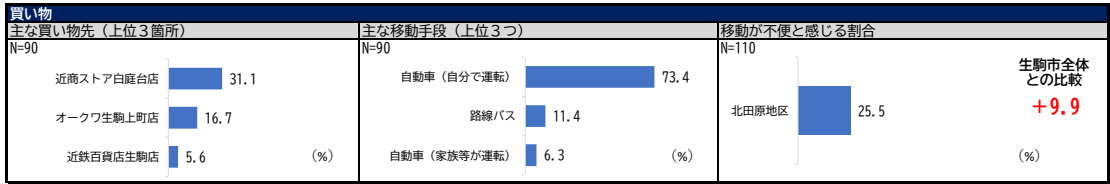
出典：令和2年度住民アンケート調査結果（生駒市）

整備優先順位の高い6地区のカルテ

令和3年度
第2回協議会
【参考資料】

北田原地区

令和2年度住民アンケートにおける主な結果



出典：令和2年度住民アンケート調査結果（生駒市）

公共交通に関する主な意見 (R元年度アンケート調査・R2年度自治会長ヒアリング結果)

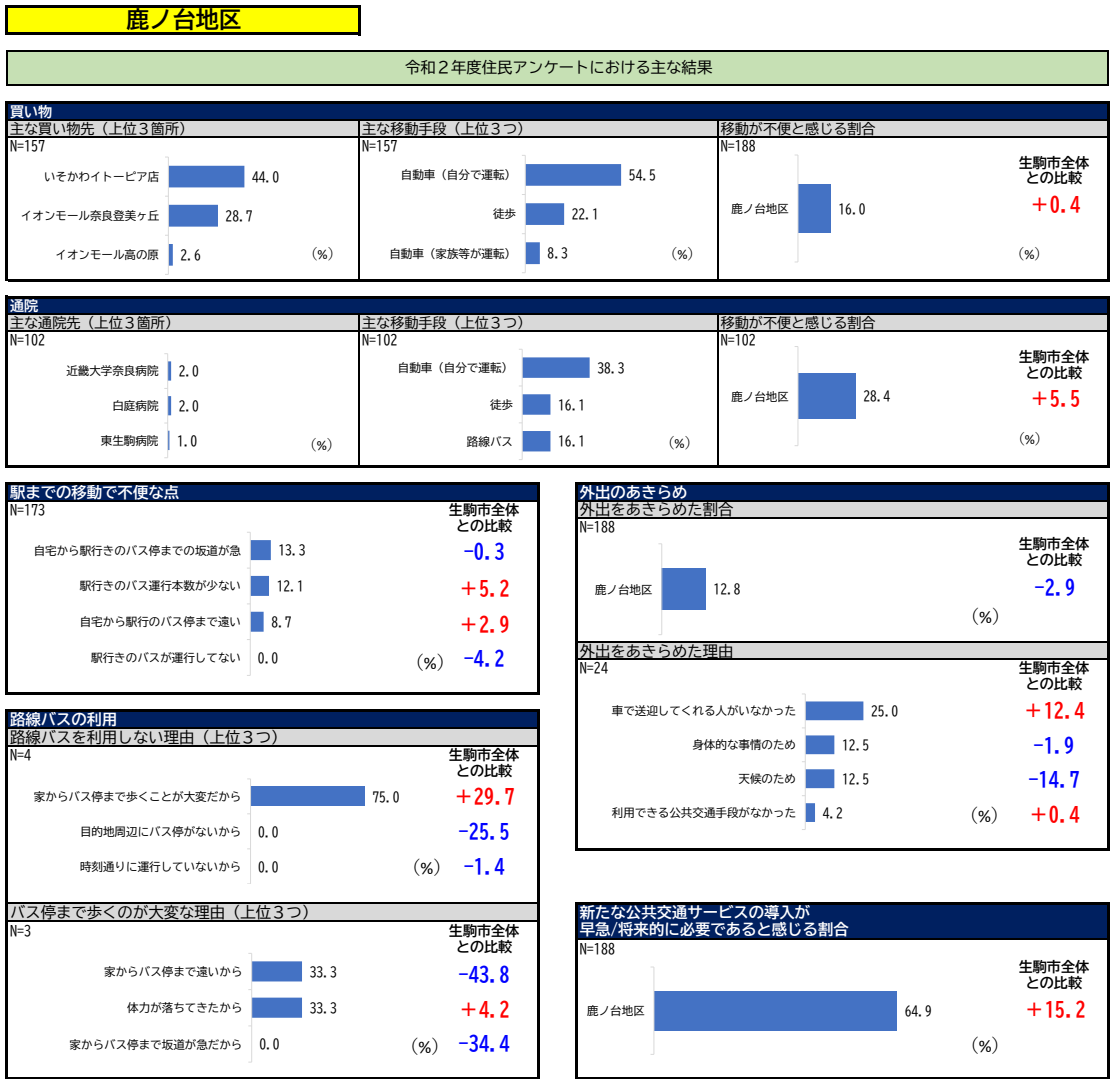
北田原	通学での路線バスの利用はあるが便数が少ないことには違いなく、買い物や通院など、自動車がなくて生活ができない。費用対効果を考えて難しいかもしれないが、買い物バスなど利便性の良いサービスを示してもらえば、その中から利用できそうなものを選べるかも知れない。
-----	---

今後の公共交通サービスの提供に係る対応方針

R2年度住民アンケート結果より得られた知見	○駅行きのバス運行本数が少ないことで、駅までの移動が不便である。 ○体力的に家からバス停まで歩くことが大変であるため、路線バスを利用しないことが多い。 ○車で送迎してくれる人がいないことで、外出をあきらめることが多い。
現状	○地区が広く道幅も狭いため、定時路線のバス系は収支や網羅性の面で厳しい。 ○鉄道駅まで距離があり、買い物や通院を支援する必要がある。
公共交通サービスの案	⇒A案：デマンド型乗合タクシーを検討する。 ⇒B案：工業団地内事業者の社員送迎用車両の昼間時利用の可能性を検討する。 ⇒C案：地域との話し合いのもと、助け合い輸送の可能性及び仕組みづくりを検討する。

整備優先順位の高い6地区のカルテ

令和3年度
第2回協議会
【参考資料】



公共交通に関する主な意見 (R元年度アンケート調査・R2年度自治会長ヒアリング結果)	
鹿ノ台	バス停までの歩行が難しいため、既存のバス停と自宅の間に停留所を設置してほしい。

今後の公共交通サービスの提供に係る対応方針	
R2年度住民アンケート結果より得られた知見	○家からバス停まで歩くことが大変であるため、路線バスを利用しないことが多い。 ○車で送迎してくれる人がいないことで、外出をあきらめることが多い。 ○新たな公共交通サービスを必要とする声が多い。
現状	○路線バスは地区内の中心を運行している。 ○路線バスが運行している街路から離れたエリアでも、多くの人が居住しており、定時定路線のバス系での対応も可能である。
公共交通サービスの案	※鹿ノ台ぐるぐるバスを別途検討中

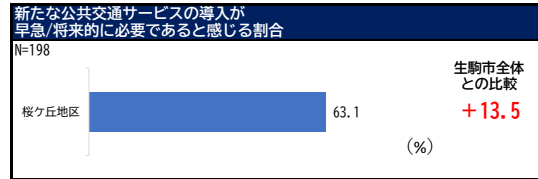
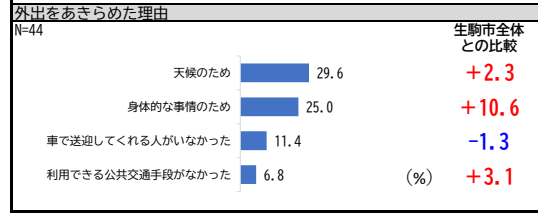
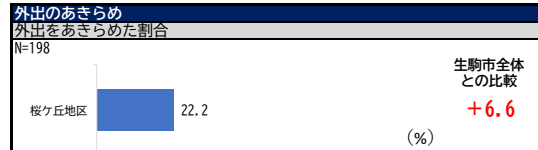
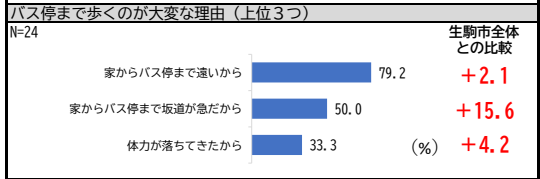
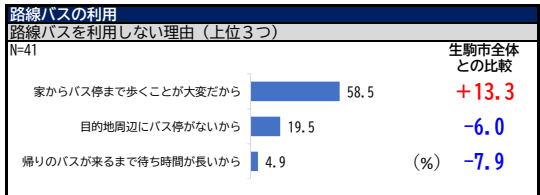
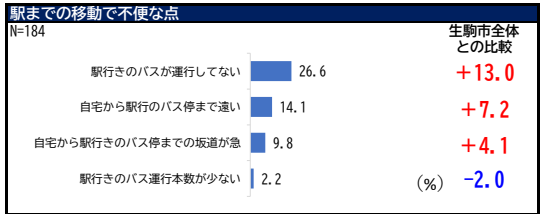
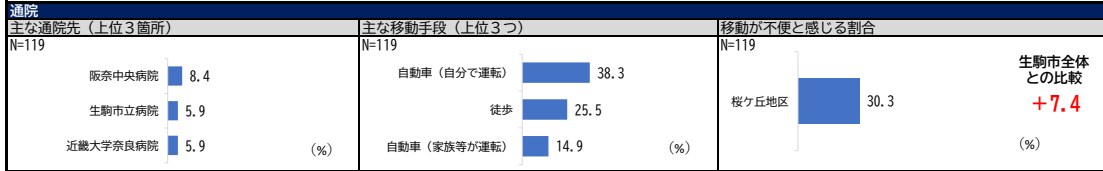
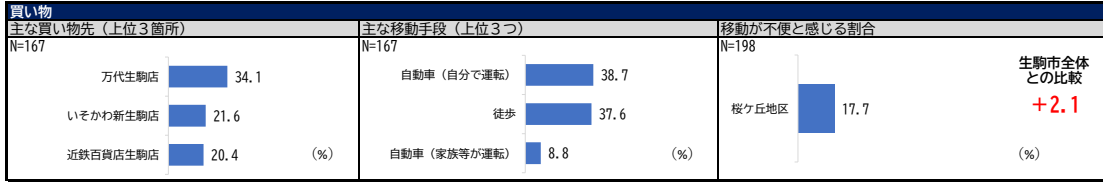
出典：令和2年度住民アンケート調査結果（生駒市）

整備優先順位の高い6地区のカルテ

令和3年度
第2回協議会
【参考資料】

桜ヶ丘地区

令和2年度住民アンケートにおける主な結果



出典：令和2年度住民アンケート調査結果（生駒市）

公共交通に関する主な意見
(R元年度アンケート調査・R2年度自治会長ヒアリング結果)

桜ヶ丘	鉄道もバスも少し距離がある。坂道なのでコミュニティバスの様なものがあれば良い。自治会費での負担もできるかも知れない。
-----	--

今後の公共交通サービスの提供に係る対応方針

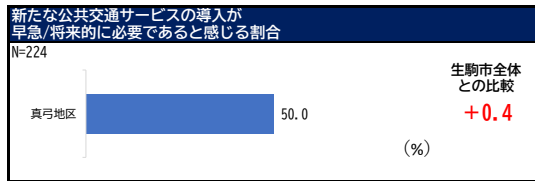
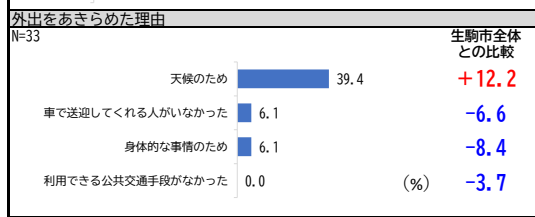
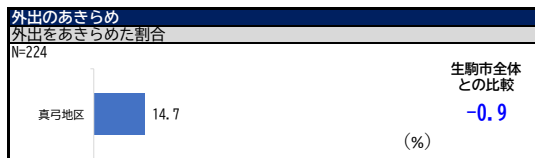
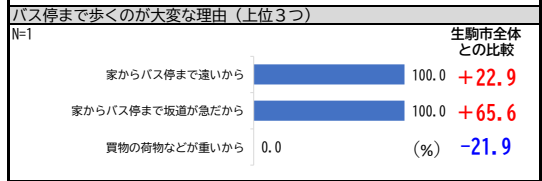
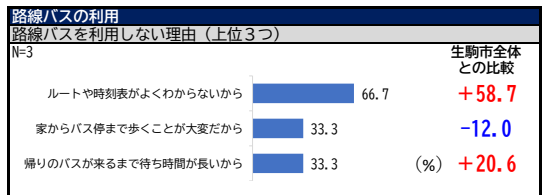
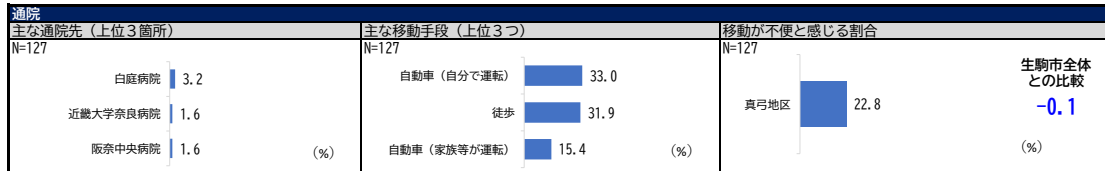
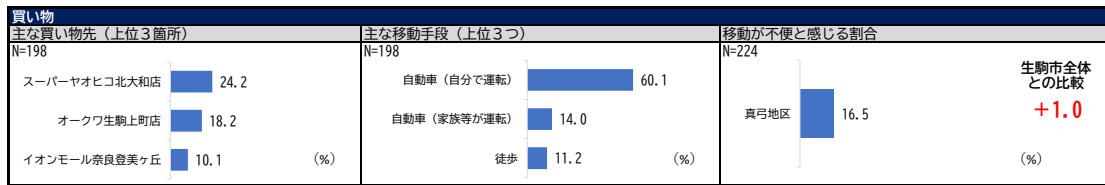
R2年度住民アンケート結果より得られた知見	<ul style="list-style-type: none"> ○駅行きのバスが運行していないため、駅までの移動が不便である。 ○家からバス停まで遠く、坂道が急であるため、路線バスを利用しないことが多い。 ○外出をあきらめたことのある住民が多い。 ○新たな公共交通サービスを必要とする声が多い。
現状	<ul style="list-style-type: none"> ○直線距離では生駒駅まで比較的近いが、道幅が狭く、坂道が多い。（但し、道路の整備計画あり。） ○自治会で費用負担をしてもらえる可能性がある。
公共交通サービスの案	地形や道路形態から地区内を網羅的にカバーすることは難しいため、少なくとも、「地区内起点～スーパー(万代 生駒店)～生駒駅」を結ぶ経路を確保する。（可能であれば、ピストン経路とすることで運行頻度を高める。） ⇒A案：コミュニティバスを前提とした経路調査(物理的な通行可能性)の上、可能性がある場合は収支シミュレーションを行う。 ⇒B案：A案について、より小さな車両である、グリーンスローモビリティの可能性を検討する

整備優先順位の高い6地区のカルテ

令和3年度
第2回協議会
【参考資料】

真弓地区

令和2年度住民アンケートにおける主な結果



出典：令和2年度住民アンケート調査結果（生駒市）

公共交通に関する主な意見 (R元年度アンケート調査・R2年度自治会長ヒアリング結果)

真弓 1丁目	自家用車での移動が多い。 呼べば来てくれるタクシーサービスが良い。コミュニティバスでは使わないのではない。 電車の運行間隔（特に昼間時間）の短縮。 学研北生駒駅を中心とした、真弓・真弓南・北大和を循環するバスがあれば利用する人もいると考える。
〃 2丁目	学園前行きバスが減便になったこともあり、自家用車移動が多い。駅まで徒歩や自転車で行く人もいる。 タクシーが利用しやすくなると良い。路線バスがなくなるようだとコミュニティバスが必要だが、住宅地内にバス停が必要で、生駒駅まで運行して欲しい。高齢者の無料化や割引があると良い。 学習、行事、スポーツ等に参加しやすいような公共交通のサービスを検討してほしい。
〃 3丁目	個人的に路線バスに不便は感じないが、利用者が減って減便となる不便になるかも知れない。徒歩や自転車が利用できるひとは駅まで行けるが、困難な人は家族による送迎となる。バスよりはタクシーの方が使い勝手は良いので、何らかの補助があると利用しやすい。
〃 4丁目	路線バスが使いにくいとは聞いていない。駅まではバスが徒歩、又は家族による送迎となる。将来のことを考えると、タクシー補助のようなものがあると良い。

今後の公共交通サービスの提供に係る対応方針

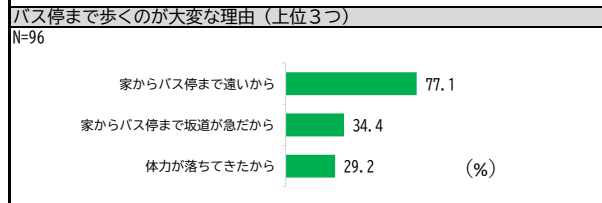
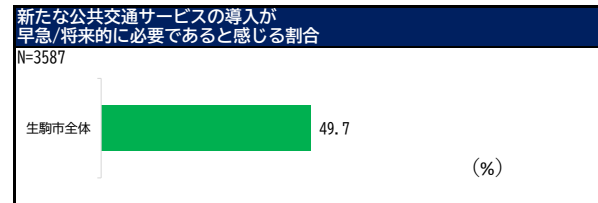
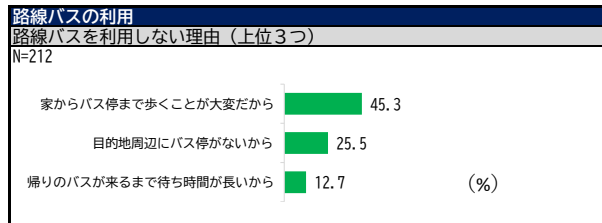
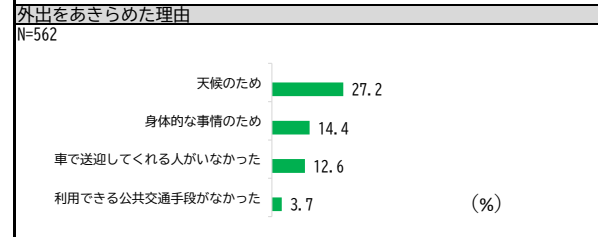
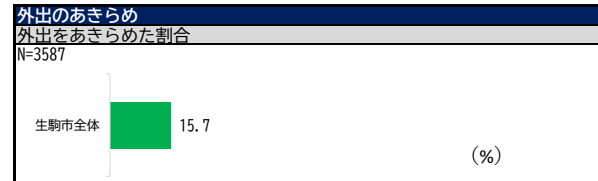
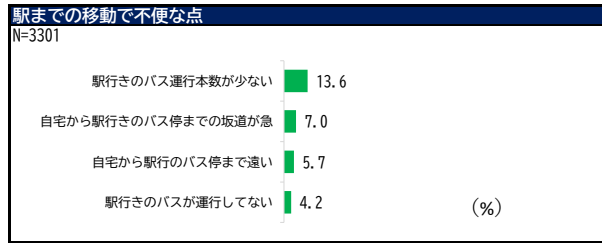
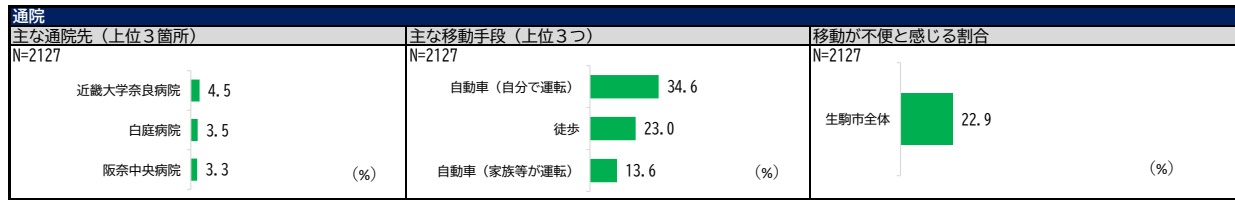
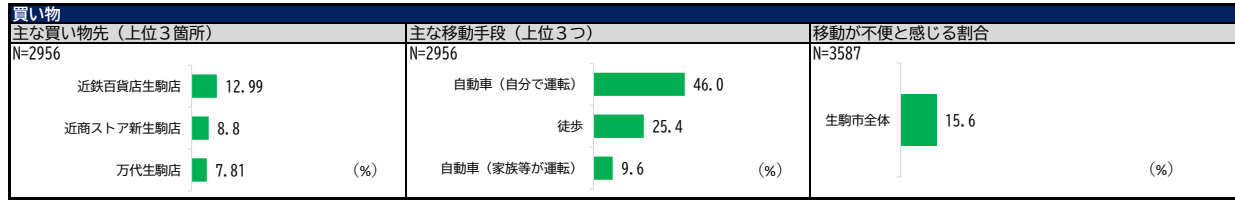
R2年度住民アンケート結果より得られた知見	○運行ルートやダイヤが分からず、家からバス停まで遠く、坂道が急であるため、路線バスを利用しないことが多い。
現状	○駅に近い町丁と駅から遠い町丁があり、幹線には路線バスが運行されている。 ○定時路線のバス系よりはタクシー系の方が適正が高い。
公共交通サービスの案	⇒A案：デマンド型乗合タクシーを検討する。 ⇒B案：A案の比較対象として、鹿ノ台ぐるぐるバス方式を検討する。（幹線は路線バスが運行し、地区内はコミュニティバスが運行する。北生駒駅まで運行させることで、幹線の路線バスと重複する場合は重複区間の運行経費は地元で負担する。）

整備優先順位の高い6地区のカルテ

生駒市全体

令和3年度
第2回協議会
【参考資料】

令和2年度住民アンケートにおける主な結果



出典：令和2年度住民アンケート調査結果（生駒市）